

注意事項

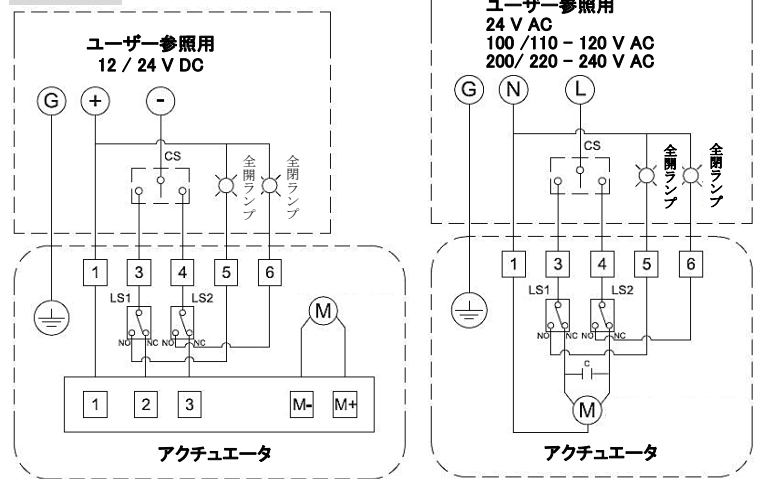
1. 取付け前に取扱説明書とカバー内側の結線図をよくお読みください。
2. 配線前に供給電圧が製品ラベルに表示された電圧と一致することをご確認ください。
3. 危険防止のため、配線や点検前に必ず電源を切ってください。
4. アース線を必ずアクチュエータ内部の PE ネジに接続してください。
5. アクチュエータ内部にある基板が静電気により故障する恐れがありますので、素手や金属工具で基板を触れないようにしてください。
6. 2 台以上のアクチュエータを並列接続して同時に操作するような結線をしないで、1 台ずつ開閉スイッチやリレーを設けてください。
7. 配線口サイズ、ケーブル外径及び IP 防水等級に適合するケーブルグランドをご使用ください。配線終了後、ケーブルグランドをケーブルに密着するようしっかり締め付け、そしてカバーと配線口を密封してください。また配線口の赤い防塵プラグは輸送期間にしか適用されませんので、長期保管の場合は防水等級のあるプラグをご使用ください。
8. 電動バルブの取付姿勢について、アクチュエータ配線口を上向きにならないよう、0° -180° 水平以上の間に取付けてください。
9. 非防爆タイプの製品なので、引火、爆発性ガス・粉じんのある危険エリア、及び真空環境での設置はできません。
10. ほこりがアクチュエータにたまらないように定期的に清掃を行い、清潔に保ってください。
11. 製品の廃棄処理については所在地の廃棄物処理法や清掃に関する法律に従い、行ってください。

取り付けの手順

- ⚠ 配線前またはカバーを取外す前に、必ず電源を切ってから行ってください。**
1. アース線をアクチュエータ内部の PE ネジに接続してください。
 2. 配線口の標準仕様は PF 1/4 で、ご使用のケーブル及びケーブルグランドが適用かどうかをご確認ください。
 3. 電圧がアクチュエータラベルのものと一致であることを確認の上、結線図をご参照しながら配線作業を行ってください。
⚠ 感電や機器損傷の恐れがありますので、配線前に電源を切ってください。
 4. 配線終了後、ほこりや雨水の進入防止のため、配線口とアクチュエータカバーをしっかり締め付けてください。
⚠ 配線口にある赤い防塵プラグは輸送期間にしか適用されませんので、長期保管の場合、防水等級のあるケーブルグランドをご使用ください。
⚠ カバーを閉める前に、Oリングが良い状態であること、所定の位置にセットされていることをご確認ください。
 5. アクチュエータカバーを下記の締付トルク値にて、ネジを確実に締め付けてください。

ネジ規格	締付トルク	
	Nm	in·lb
M4	1.3	12

結線図



- 故障を避けるため、下記の表を参照して適切な電線とヒューズをご使用ください。

ワイヤーゲージ	最大電流値	ヒューズ
24 (0.205mm ²)	3 A	2 A

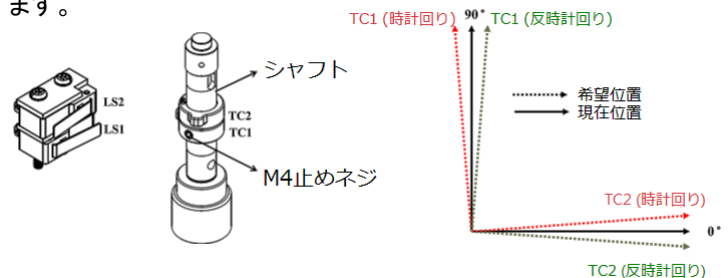
配線方法:

- #N を #1 に接続する。
 - #L を #3 に接続すると、バルブ開方向へ。
 - #L を #4 に接続すると、バルブ閉方向へ。
- LS - リミットスイッチ
CS - 制御スイッチやリレー

全開/全閉位置の調整

- ギア機構の故障を避けるため、調整前に電源を切ってください。
- すべての調整と試運転は通常操作前に済ませてください。

アクチュエータにはモーターを停止させ、全開と全閉位置のストローク範囲を調整できるリミットスイッチが2個 (LS1 & LS2) 装備されています。LS1は開側、LS2は閉側に使用されています。



調整手順

工具: 六角レンチ (2 mm)

1. 電源を切ってください。
2. 上記の図を参照しながら、全開/全閉位置のカム (TC) を調整してください。

TC2 閉側

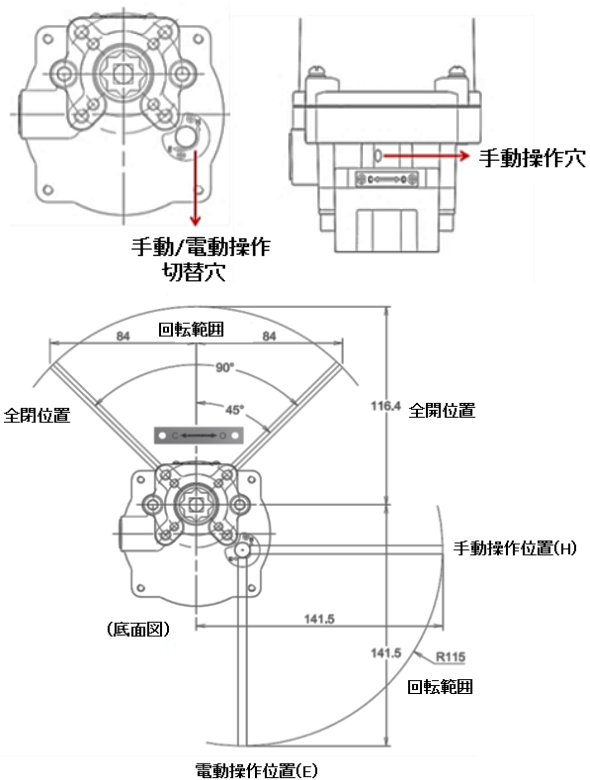
- 時計回り: 全閉開度を減らす
- 反時計回り: 全閉開度を増やす

TC1 開側

- 時計回り: 全開開度を増やす
- 反時計回り: 全開開度を減らす

3. 電動操作で全開と全閉位置が正しいかをご確認ください。
4. 調整完成です。

手動操作の手順



1. 手動レバーを手動/電動操作切替穴に差し込んで、電動操作位置(E)から手動操作位置(H)に切り替えてください。
 2. 手動レバーを手動操作穴に差し込んで、レバーを左右に動かすことで開閉操作ができます。
 3. 手動操作完了後、必ず手動/電動操作切替穴を手動操作位置(H)から電動操作位置(E)に戻してください。
- ⚠ 電動操作位置(E)に戻しないと、電源を入れてもアクチュエータが電動操作できませんので、ご注意ください。**